

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	防災・減災政策特講		
担当教員	山下 博之		
対象学年	2年	開講学期	前期
曜日・時限	水 3		
講義室	1302	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	講義・発展		
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1 [意欲・経験・適性] 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代社会における様々な危機に対する高い関心と深い洞察（20%） DP2 [学識・専門技能] 災害、テロ、国際紛争等、複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための、法学、政治学、国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能（40%） DP3 [思考力・判断力・表現力] 客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力（30%） DP4 [主体性・多様性・協働性] 多様な価値観や立場を尊重しつつ、自らの明確な考えをもとに、他者とコミュニケーションを確立する能力（10%）		
教員の実務経験	2009年から2015年にかけて消防庁所管のシンクタンクの研究員として、国、地方自治体の防災政策及び消防政策に関する調査、研究業務に従事してきました。2018年度には、消防庁の「国民保護に関する懇話会」の委員を務めました。 また、2019年度以降は栃木県中小企業団体中央会による「災害時応援協定締結支援事業」（栃木県委託事業）の講師・アドバイザー役として、各種中小企業の災害時応援協定及びBCPの取り組みを支援しています。これらの業務を通じて得られた実務上の知見や経験を活かし、本講義を展開していきます（第1回～第15回）。		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	「災害大国」と呼ばれる日本では、災害に伴う被害の発生を防ぎ、または被害を小さくするため、災害対策基本法等の災害関連法に基づく各種防災・減災施策が整備されてきました。 本講では、こうした防災・減災施策に着目し、施策が整備された背景や整備過程、施策を担う関係機関と施策の実施過程を辿り、防災・減災施策の実態と課題について検討します。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力等の汎用的能力を開発することを目的とします。 授業形態は(講義・実技・実習・演習)形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補充・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：防災・減災、政策研究、政府間関係、ガバナンス、コミュニティ		
授業の趣旨	■副題 「防災・減災」を題材としながら政策の作成、決定、実施に関する研究方法の視点を身につける ■授業目的 「防災・減災」という理念が国や自治体の政策として具体化されていくプロセス、及び自治体または地域住民、事業者によって実施されていく局面に着目し、防災・減災研究の留意点あるいは政策研究の方法や考え方を身につける。 ■授業のポイント 本授業では着目するのは政策が作成、決定されていくプロセスと、自治体または地域住民、事業者によってそうした政策が実施される局面です。特に防災・減災政策やその先行研究を扱いながら、政策プロセスと政策実施の局面、またはステイクホルダーに関する研究及び研究方法について検討します。		
総合到達目標			
成績評価方法	■研究報告：2回（50%） 自らの修士論文の研究テーマに関連する制度に着目し、その成立の経緯（改正経緯）及び実施の局面、その中で主要な役割を果たしたアクターとその役割について整理し、発表する。 （評価の観点）制度の成立（改正）過程・実施過程及び主要アクターの役割を整理していくにあたって参考にした文献・資料の適切さ、参考の仕方の適切さ等。 （フィードバック）授業内で講評をします。 ■レジュメ報告：1回（20%） 「防災・減災」及び政策研究に関する文献に関するレジュメを作成し、報告する（文献については第1回目の授業で指示します）。 （評価の観点）レジュメの内容及びプレゼンの仕方、姿勢。 （フィードバック）授業内で講評をします。 ■授業参加度：15回（30%） （評価の観点）各回の発表及び解説に関する議論への参加状況や発言内容等。 （フィードバック）授業内に適宜講評をします。		
履修条件	特になし		
履修上の注意点	履修者数及び履修者の修士論文のテーマを踏まえて、授業内容を調整することがあります。		
授業内容	回	内容	
	1	① 授業テーマ ガイダンス ② 授業概要 ・本科目の目標や各授業回の内容、スケジュール、学修方法や参考資料等について説明できるようになる(DP-1, 3, 4)。	

	・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③ 予習（60分） 本科目のシラバスを通読し、自らの修士論文テーマとの関連性について検討する。 ④ 復習（180分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本科目についての自分の学修計画を立てる。
2	①授業テーマ 政策研究の視点（1） ②授業概要 ・基本的な政策過程を踏まえつつ、自らの修士論文のテーマについて公共政策学の視点から検討することができるようになる（DP-1, 3, 4）。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジюмеを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
3	①授業テーマ 政策研究の視点（2） ②授業概要 ・基本的な政策過程を踏まえつつ、自らの修士論文のテーマについて公共政策学の視点から検討することができるようになる（DP-1, 3, 4）。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジюмеを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
4	①授業テーマ 防災・減災と行政（1） ②授業概要 ・防災・減災に関わる国（政府及び各省庁）とその役割、関連法制に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる（DP-1, 3, 4）。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジюмеを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
5	①授業テーマ 防災・減災と行政（2） ②授業概要 ・防災・減災に関わる地方自治体とその役割に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる（DP-1, 3, 4）。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジюмеを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
6	①授業テーマ 防災・減災と地域コミュニティ ②授業概要 ・防災・減災に関わる地域コミュニティとその役割に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる（DP-1, 3, 4）。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジюмеを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
7	①授業テーマ 防災・減災と企業 ②授業概要 ・防災・減災に関わる企業とその役割に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる（DP-1, 3, 4）。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジюмеを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
8	①授業テーマ 防災・減災と市民（1） ②授業概要 ・防災・減災に関わるボランティア・NPO等とその役割に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる（DP-1, 3, 4）。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジюмеを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
9	①授業テーマ 防災・減災と市民（2） ②授業概要 ・防災・減災に関わる個人とその役割に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる（DP-1, 3, 4）。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。

	③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジュメを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
10	①授業テーマ 応急対応の防災・減災政策研究（1） ②授業概要 ・住民の避難行動を促す避難情報及び関連する制度に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる(DP-1, 3, 4)。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジュメを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
11	①授業テーマ 応急対応の防災・減災政策研究（2） ②授業概要 ・避難所及び避難所運営及び関連する制度に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる(DP-1, 3, 4)。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジュメを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
12	①授業テーマ 復興の防災・減災政策研究 ②授業概要 ・被災地における復興過程及び関連する制度に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる(DP-1, 3, 4)。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジュメを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
13	①授業テーマ 減災の防災・減災政策研究 ②授業概要 ・河川の氾濫や津波、土砂災害に関わる土地の利用規制及び関連する制度に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる(DP-1, 3, 4)。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジュメを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
14	①授業テーマ 事前準備の防災・減災政策研究（1） ②授業概要 ・企業や行政機関が策定するBCP及び関連する制度に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる(DP-1, 3, 4)。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジュメを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
15	①授業テーマ 事前準備の防災・減災政策研究（2） ②授業概要 ・防災訓練に関連する制度に関する全体像を理解し、防災・減災研究における主要な研究課題について自分なりの言葉で説明できるようになる(DP-1, 3, 4)。 ・実務経験を踏まえながら説明をします。 ③予習（180分） 指示された資料を通読し、レジュメを作成する。 ④復習（60分） 自らの修士論文の研究計画を踏まえ、本授業回との関連性についてのメモを作成する。
関連科目	
教科書	特になし
参考書・参考URL	第1回授業時および各回ごとに適宜提示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に伝えます。 ■オフィスアワー 開講時に伝えます。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント60%; パブリックセキュリティ10%; グローバルセキュリティ10%; 情報セキュリティ10% ■危機管理と法学のバランス 危機管理90%; 法学10%

